総務産業常任委員会

4月14日と5月14日に開会された「総務産業常任委員会」の概要についてお知らせします。

4月14日

水産農林課関係

○奥尻町内における漁港、港湾の整備計画について説明を受けました。

その後、奥尻地区に新設された、冷蔵庫、製氷施設の視察を行ないました。

5月14日

総務課関係

○町から旧奥尻小学校校舎の再利用策定計画の報告がありました。

同委員会は、今後、奥尻町において、利用計画に基づく詳細な財源計画等の資料を策定後に、町議会と協議を続けることにしました。

再利用計画の同委員会への主な報告は次のとおりです。

◎既存施設解体と新築した場合

14億2千8百万円

◎既存施設を役場庁舎と幼稚園とした場合

9億6千1百万円

◎既存施設を役場庁舎と消防庁舎等とした場合

10億2千4百92万円

国保病院関係

○国保病院から現在の職員数、診療状況と南檜山地域医療再生計画事業についての報告を受けました。

同再生計画による医療機器として、5千万円のオーダーリングシステムの購入など、平成22年度から平成25年度まで1億4千万円の機器購入額になっている。

課題は今後の更新には補助がなく町負担になることから、町村会での要請が必要になる、との説明がありました。

同委員会では、最近における医師の対応で町民から苦情が出されていることから、苦情が続くようであれば、医師との意見交換を行うことにしました。